

科目名		安全衛生マネジメント学実習	
科目責任者		河村 洋子 (安全衛生マネジメント学 教授)	
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>組織開発的視点に基づく安全衛生マネジメントを大きな枠組みとして、さらに具体的な自己の研究テーマを決め、研究の方向性や定量・定性双方の手法やアプローチ、研究倫理などに関する研究計画立案の仕方を学び、実際に研究計画を立てる。実際に研究を開始し、研究結果の検証・解釈や討論などを通して、科学的視点とリサーチ・マインドを身につける。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 組織開発的視点に基づく安全衛生マネジメントを大枠として、先行研究レビューを行い、自らのリサーチクエスチョンを立てることができる。 2) リサーチクエスチョンに対する解を適切に導くための研究デザインを選び、その論拠を説明することができる。 3) 研究手法について、研究倫理上の課題を自ら整理することができる。 4) 研究を実施する現場の文脈に応じて、実施可能な研究計画を立案することができる。 5) 計画に基づき、研究活動を実施することができる。 6) 収集するデータに適切な分析方法を選び、その論拠を説明することができる。 7) データ分析を実施し、結果の解釈について論じることができる。 8) 結果に基づき考察し、考えを展開することができる。 9) 研究の限界を整理し、論じることができる。 10) 研究成果をまとめて、学会発表ができる。 			
● 評価方法	<p>取り組み過程及び参加度 (10%)、論文作成段階成果 (50% = 5段階各10%)、最終成果物 (論文) (40%) で評価。(詳細は次ページを参照のこと)</p>		
● 参考文献	<p>実習の中で必要に応じ紹介する。</p>		

● 授業内容

内容	担当教員
選択したテーマに関して、定量、定性、金剛型研究による研究デザインや手法、研究倫理に関して指導を受けながら、研究計画を立案する。	河村
担当教員の指導を仰ぎ、計画に沿って現場での研究活動を実施する。	河村
担当教員の指導のもと、収集したデータの分析を行い、解釈する。	河村
担当教員の指導のもと、結果に基づき、自分なりの考えを考察として展開していく。	河村
学会発表等のより高度なプレゼンテーションを行う経験を通して、プレゼンテーション力を向上させる。	河村

● 評価方法

まず、研究計画書の執筆を行い、「背景」「目的」「方法」までの段階ごとに評価する(各20点)。次に、その計画書をもとに、研究活動を実施し、「結果」「考察」の箇所を段階的に評価する(各20点)。最終的に一連を論文として書き上げたものを最終課題として、それまでのフィードバックの反映などの取り組みの度合い(20点)と内容に関して、論理性と論文としての要件を指標として評価し(80点)、総合評価を出す。(したがって、科目の総合評価は、200点を満点として行う)